

国立音楽大学同調会 平成 28 年度 代議員会 会議録

日 時：2016 年 8 月 1 日（月）午後 1 時 30 分より

会 場：国立音楽大学 6 号館 101 室（大講義室）

出席者：45 名（議決権者の総数：52 名、この内委任状提出 5 名、欠席 7 名）

配付物：議事次第、平成 27 年度 活動報告、会計報告及び監査報告書、平成 28 年度 活動計画（案）及び予算書（案）、平成 29 年度以降の新規事業案、同調会奨学金規程改定（案）、「くにたち賞」表彰規程及び選考規程案、推薦書案、実施スケジュール案、同調会現規約、出席者リスト

大学関係資料：大学案内 2017、OPEN! 2016、CARILLON、演奏会スケジュール

冒頭、司会の正木麻里子学長事務部部长より、配付資料が確認され、次に本日の代議員会が成立要件を満たしていることが伝えられた。その後、議事次第に沿って進行した。

山下洋輔会長は都合により欠席であったため、藤沢副会長よりはじめにご挨拶をいただいた。続いて、長尾達則理事長、武田忠善学長（ともに同調会顧問）の挨拶が続いた。

規約第 8 条 4 項により指名された議長：小谷幸久氏（幹事・鳥取県同調会会長）、副議長：藤森晴子氏（幹事・栃木県同調会事務局長）のもと、以下の内容が審議・報告された。

【審議事項】

1. 平成 27 年度 活動報告 <神原雅之 幹事代表>

- ①会議報告：代議員会(2015/8/1)と役員会(全4回)を開催した。(日程・議題：当日配付資料参照)
- ②同調会ニュース：通巻 92 号を『くにたち音信』と合併号として発行した。
- ③ホームカミングデイ：参加者 250 名。合唱団「しらべ」や本学卒業生のソプラニスタ岡本知高氏（ピアノ：榎本潤先生）によるコンサート、くにたち写真展、キャンパスツアー、懇親ティーパーティーの様子は、Web サイトに写真と報告を掲載。主催：同調会、運営：学内同調会。
- ④ホームページ：継続更新。新会長ご挨拶ほかホームカミングデイ、各会主催の演奏会情報等。
- ⑤代議員会運営分担金：45 会×@25,000 円を大学に納付した。会計報告にも明記している。
- ⑥大学と各同調会との共催事業：ミニコンサート&クリニック（8 会）、進学ガイダンス 12 会場。適宜協力し合った。

2. 平成 27 年度 会計報告 <横瀬和雄 財務管財部部长・代議員>

当日の配付資料参照。

3. 平成 27 年度 監査報告 <神宮寺淑子 会計監査人・山梨同調会会長>

代議員会当日の午前中に、同調会会計監査役の神宮寺淑子氏と駒沢とみ子氏が監査を行った。神宮寺氏より、監査の結果、収支状況が正しいことが報告された。

以上、平成 27 年度の活動報告及び会計報告について拍手で承認された。会場からは、以下の
のような質疑応答があった。

[代議員 A] 会計報告書の様式が一般的でない点が気になる。また、支出の部に「次年度繰越金」
が入っているのは何故か。

[答弁] 様式は従来からのものを継承している。収支の表し方は、前年度の代議員会にて承認され
た予算書案を前提にしている。決算額との差異を備考欄に記載し、同調会会計の全体の流れを
表している。「次年度繰越金」の記載については、同調会は従来収入がなく、一年間の会計で繰
越金がどう変化したかを分かるようにしている。

[代議員 B] 前回の代議員会で出た、支出の項目「運営分担金」について、活動報告では「納付」
としているが、会計報告では収入の部に記載されていて、支出には何の記載もない。同調会
で集め、大学に納付したという記録が無いとおかしい。また、支出の運営分担金 1,125,000
円は、不足分約 40 万円を計上した約 150 万円が決算額になるのではないか。

[答弁] 前回の代議員会の際も説明しているが、大学が直接、代議員の方々へ交通費を支出して
いる実態であるため、同調会としては、各同調会からの運営分担金を徴収し、大学へ納付し
ている。差額は大学が直接負担している。これまで同調会は実質的な収入が無く、同調会が
収納した金額については大学に納めている。書式については、大学の公認会計士が監査して
いるものである。

[代議員 C] 入会金徴収については、いつ決定したのか。

[答弁] 前回の代議員会で承認された。現在、学部・修士の最上学年から徴収している。H27 会
計報告書には H28 年 3 月 31 日までに納入された分を、H28 年 4 月 1 日以降に納入された分
は H28 年予算書案に計上している。

[代議員 D] 入会金徴収を開始することについて、同意を得られなかった学生はいるのか。

[答弁] 危惧していたが、そのようなことはなかった。

4. 平成 28 年度 活動計画案 <神原雅之 幹事代表>

①会議予定：代議員会（2016/8/1）と役員会

②同調会ニュース：通巻 93 号『くにたち音信』7 月号と合併して発行。

③ホームカミングデイ：2016 年 11 月 3 日（祝・木）第 6 回を迎え開催。「スペシャルコンサ
ート」出演者は、合唱団「カンマーコール」、山下洋輔同調会長(Pf)、武田忠善学長(CI)を予定。
例年好評の「キャンパスツアー」ではリニューアルした 4 号館の見学、その他「くにたち写真
展」、「懇親ティーパーティー」を実施予定。

この催事は、主催が同調会で、大学は共催の形を取る。運営は、例年の通り、本学の教職員に
よる「学内同調会」が担う。

④同調会ホームページ：継続し各同調会が主催する演奏会情報などを更新する。また、入会金徴

収の再開についても、Web 上で周知を図る。

- ⑤代議員会運営分担金：例年通り徴収し、大学に納める。
- ⑥大学と都道府県同調会の共催事業：「ミニコンサート&体験レッスン」を5ヶ所で開催。
- ⑦賛助金(寄付)のお願い：同調会活動を活性化するため、広く卒業生へお願いする。

以上、「平成28年度の活動計画」について拍手で承認された。

5. 平成28年度 予算書案 <横瀬和雄 財務管財部部長・代議員>

当日配付資料参照。「ホームカミングデイ2016」の収入は、大学より35万円、参加費60万円の計95万円。支出合計は100万円を予定している。差額の5万円は、次年度繰越金から支出することが承認された。

6. 平成29年度以降の新規事業案

役員会を代表し、藤沢章彦副会長より入会金の使途について提案された。各事業案の趣旨等は、当日配付資料参照。

会場から、各事業案について、以下のような質疑応答があった。

①奨学金の再開について

[代議員D] 災害や経済的事情により就学出来ない学生へ給付するのはどうか。

[答弁] すでに大学では、災害や経済的事情により就学困難な学生に対応した様々な奨学金制度を設けており、適宜給付または貸与している。

②同調会「くにたち賞」の新設について

[代議員E] 大賞に選ばれるようなベテランの卒業生を表彰するのはもう十分だと思う。若い世代へ恩恵を与えてはどうか。受験生獲得につながるような使途がいいのではないかと。

[代議員F] 集まった入会金から、この賞のために基金としてプールする。くにたち賞は賞金を出さず、名誉を表彰すればよいのではないかと。

[代議員G] 副賞を削除し、賞状と名誉のみ授与するということでスタートさせるのはどうか。収入を得るための新規事業案を考えて行く必要もある。

[代議員D] くにたち賞は、「同調会」の名を知らしめることはできるのか。大学が実施するのがいいのではないかと。代替案として、各都道府県同調会の演奏会へ2~3万円を補助金として給付するのはどうか。

③県人会助成金について

[代議員C] 県人会助成金は平成29年度4月から実施されるものか。

[答弁] はい。

[代議員 H] 県人会の演奏会に、卒業生が参加する場合も助成の対象になるのか。

[答弁] 原則的には、在学生在が主催する場合のみを対象とする。学内同調会事務局で、演奏会の概要を判断してもらい、助成金を給付する流れとなる。

[代議員 B] 県人会というのは、大学公認の団体なのか。

[答弁] 大学で公認しているのではなく、同じ出身地の在學生グループが地元で演奏会を開催する場合、仮にその団体を「県人会」と称している。

④その他

[代議員 B] 新規事業案を実行する前に、これまで大学に支出してもらっていた項目を、すべて同調会で運営していくことをまずは考えてはどうか。

[答弁] 役員会では、入会金の徴収と新規事業を同時にスタートさせ、並行して行っていくべきと考えている。

[代議員 I] 卒業生数の減少により、地方のコンサートの運営が厳しい状況。まずは同調会が活発にならないと、大学へ学生を送り込むことすらできない。

[代議員 J] 各都道府県同調会へ支援してもらえるような制度がほしい。

[代議員 K] 在學生に支援するのはもちろん大事だが、地方同調会の演奏会の存続も危うい。2～3万円の支援があるだけでもありがたいのでご一考いただきたい。

[答弁] 過去には、同調会演奏会に資金を支援していたこともあったこともあり、このようなご意見が出ていると思われる。しかし、関東地域のように会員数が多い同調会もあり、各県へ一律で給付するのが適切かどうか、難しいところがある。

[代議員 G] 代議員会運営分担金について、入会金徴収が開始されたということで、撤廃していただきたい。入会金徴収がなかった時代に、交通費として運営分担金を払っていたが、今後は不足分だけでなくすべてを同調会の会計でまかなってほしい。

[代議員 B] 本代議員会の資料について、協議事項がある場合は、事前に送付等していただけないか。

[答弁] 検討する。

結論として、②同調会「くにたち賞」の新設 に関しては、次年度再提案、その他の案は拍手で承認された。

7. 役員改選

任期満了に伴い、連続Ⅱ期を務めた貝瀬幹雄幹事、長谷川和生幹事、小谷幸久幹事が退任。後任として、規約11条1項より大畠恵司氏（岩手県同調会会長）、堺洋子氏（石川県同調会会長）、米倉孝氏（岡山県同調会会長）が推薦され、会場より拍手で承認された。

任期Ⅰ期目を務めた藤森晴子幹事、中村聡幹事、青木つくし幹事には、会運営の継続性を鑑み

Ⅱ期目の就任が提案され、拍手で承認された。

続いて、規約第8条2項2号の代議員で任期満了となった岩森美里氏、駒沢とみ子氏が退任。その後任として、山本英助氏（学内同調会会長）が推薦され、会場より拍手で承認された。任期Ⅰ期目を務めた足本憲治氏、神原雅之氏は、会の連続性を鑑みⅡ期継続が提案され、拍手で承認された。

連続Ⅱ期を務めた4名に拍手で謝意を表した。

以上で、代議員会は終了した。

代議員会の出席者は以下の通り（順不同）。

藤沢章彦副会長、長尾達則理事長（顧問）、武田忠善学長（顧問）、神原雅之（幹事代表・代議員）、貝瀬幹雄（幹事）、長谷川和生（幹事）、青木つくし（幹事）、藤森晴子（幹事）、坂口 聡（北海道同調会・代理）、浅野 清（青森県同調会）、大島恵司（岩手県同調会）、吉成 真（秋田同調会）、門脇磨美子（宮城県同調会）、尾形秀重（福島県同調会）、鈴木恵子（群馬県同調会）、沼尾守夫（栃木県同調会）、武田 順（茨城県同調会）、井上由紀子（埼玉県同調会）、中村 聰（東京同調会・幹事）、福井博之（千葉県同調会）、木村茂雄（神奈川県同調会・代理）、神宮寺淑子（山梨同調会・会計監査）、三上秋子（富山同調会・代理）、堺 洋子（石川県同調会）、杉山由一（長野県同調会）、山田 望（静岡県同調会）、橋本真弓（岐阜県同調会）、小田切清（愛知同調会）、鈴木就二（三重県同調会）、橋爪恵子（和歌山同調会・代理）、長谷場純一（兵庫県同調会）、米井里香（大阪同調会）、平松久司（京・滋・奈良同調会）、小谷幸久（鳥取県同調会・幹事）、三木厚子（島根同調会）、米倉 孝（岡山県同調会）、小田孝則（広島県同調会）、中島俊泰（山口県同調会）、塩崎百合子（香川県同調会）、上原佐知子（徳島同調会・代理）、長谷川公彦（愛媛同調会）、彌永耕一（福岡県同調会・代理）、吉原敏郎（佐賀県同調会）、太田昭子（長崎県同調会・代理）、草尾文隆（熊本県同調会）、成松和恵（宮崎同調会）、西澤 明（鹿児島県同調会）、玉城哲也（沖縄県同調会）、駒沢とみ子（代議員・会計監査）、岩森美里（代議員）、横瀬和雄（代議員・財務管財部長）、正木麻里子（代議員・学長事務部長）、登坂江美子（学長事務室課長）、長野舞希（事務局）